

指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（令和6年度分）

<県の評価等>

施設所管部名： 県土整備部

1 指定管理者の概要等

Table with 2 columns: 施設の名称及び所在, 指定管理者の名称等, 指定の期間, 指定管理者が行う管理業務の内容. Content includes 県営都市公園 亀山サンシャインパーク and management tasks like maintenance and user guidance.

2 施設設置者としての県の評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

Table with 4 columns: 評価の項目, 指定管理者の自己評価 (R5, R6), 県の評価 (R5, R6), コメント. Rows include 管理業務の実施状況, 施設の利用状況, and 成果目標及びその実績.

※「評価の項目」の県の評価: 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。 「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。 「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

Table with 2 columns: 総括的な評価, 内容. Content includes a summary of the county's evaluation for the designated manager and future expectations for the facility's management.

<指定管理者の評価・報告書（令和6年度分）>

指定管理者の名称： サンシャインパークGM

1 管理業務の実施状況及び利用状況

(1) 管理業務の実施状況

①県営都市公園事業の実施に関する業務

[1] 維持管理業務

- 芝刈りや除草、枯損木や突出枝木の伐採・剪定、生垣や寄植えの剪定、園内清掃を適切に実施し、園内環境の保全に努めた。
- 地元ボランティア団体（愛護会）と協力して定期的に花壇整備を実施することで、地域とのつながりを深めるとともに、園内の景観美化につなげた。

[2] 運営業務

- HPやブログ、亀山市広報、観光情報誌等により、イベントや公園情報の発信に努めた。
- 公園の特性（池の存在や、高速道路に隣接すること等）をいかしたイベント等を開催した。

(主な開催イベント)

GW感謝祭（こどもスケッチコンクール等）、親子カヌー体験、秋のフェスティバル（働く車展示試乗会、缶バッチづくり、花苗配布等）、クリスマスリースづくり体験、イルミネーション、新春祭 など

②施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

- 給水設備等は専門業者に委託して、適切に点検を実施した。
- 指定管理者による修繕等の主な実施状況は次のとおりである。
受水槽定水位弁修繕、水の遊び場漏電ブレーカー修繕、パーゴラ座板修繕、西トイレドア修繕、丸太階段取替修繕、砂補充（キッズランド周辺、プレイシェイパー周辺）

③県施策への配慮に関する業務

- 障がい者団体の利用に際し、バス駐車場スペースを優先確保した。〔人権尊重社会の実現〕
- スタッフに高齢者を採用するとともに、性別・年齢が多様な地元ボランティア団体（愛護会）の協力で園内美化・花壇緑化を定期的の実施した。〔男女共同参画社会の実現〕

④情報公開・個人情報保護に関する業務

- 各種規程に基づき適切に実施した。なお、令和6年度に文書の開示請求はなかった。
- 個人情報保護責任体制を明確にし、個人情報を含む資料等は、鍵付きロッカーで保管した。

⑤その他の業務

- バーベキュー道具の販売・レンタルの実施
- 園内3ヶ所（西駐車場、北駐車場、エントランス）の掲示板を用いた来園者への情報提供

(2) 施設の利用状況

年間公園利用者数 928,914人 （前年度： 942,040人 対比：98.6%）

[内訳] 巡回による把握人数	: 69,485人	(前年度: 75,670人)	対比: 91.8%
オアシス館利用者数	: 835,470人	(前年度: 837,915人)	対比: 99.7%
バーベキューランド	: 2,788人	(前年度: 3,052人)	対比: 91.3%
イベント等の利用者	: 21,171人	(前年度: 25,403人)	対比: 83.3%

[参考：遠足等の団体利用の状況]

学校利用（遠足等） 12件 計1,048人

5 管理業務に関する自己評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	R5	R6	
1 管理業務の実施状況	B	B	前年度から引き続き、園内巡回やトイレ清掃を毎日行い、「清潔・綺麗・安全な公園」を目指した維持管理を行った。 緑化促進については、花苗の無料配布を春と秋の2回行い、また、ボランティア団体と協働でエントランス広場の花壇緑化を実施した。公園のPRも兼ねて各種イベントを実施した。また利用者意見の反映に向けて、個人情報に留意しつつ利用者アンケートを行った。
2 施設の利用状況	B	B	夏の猛暑や冬の多くの積雪のため、利用者数は対前年98.6%となった。来園者の夏の暑さ予防や対策を呼びかけたところ、大きな事故やケガはなかった。 新聞や雑誌、テレビ等、各種マスコミを通して、イベントや公園施設の案内を掲載することで、公園のPRに努めた。特に自主事業として実施したウォーキングイベント「みんなで地球一周」は新聞等でも大きく取り上げられ、引き続き2周目を実施することとなり、来園者の健康増進に寄与することができた。
3 成果目標及びその実績	A	A	公園利用者の満足度は、成果目標を達成した。

※評価の項目「1」の評価 :

「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価 :

「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 「B」 → 当初の目標を達成している。
 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	<p>●上記の評価に至った根拠・理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果目標に対する達成度 利用者満足度は95.8%となり、成果目標（82%以上）を達成した。 ・残されている課題 平成15年の開園から20年が経過し、園内施設の老朽化の進んでいる。これにより、修繕など施設の維持管理に要する経費が増加してきている。県と役割分担しつつ、公園環境の維持のために巡視の徹底等を継続する必要がある。 また、駐車場など施設自体のキャパシティ不足が顕在化してきている。県と連携しながら一般駐車場の増設やバス専用駐車場の新設など、将来に向けた公園の利用促進に向けて、ハード整備も含めて公園自体のポテンシャルを上げることも検討していく必要があると考える。 ・その他 アンケート調査（イベント時含む）において、全体的に高い満足度を確認でき、利用者属性別でも高速道路利用者・地域住民双方に喜んでいただいた。 通年のウォーキングイベント「みんなで地球一周」の企画・開催により、園内散策者の増加や個々の健康増進に寄与することができた。これは、園内を周回する園路がちょうど1周約1キロであることに着目して、周回数を記録する用紙の提出を受けて、地球1周（4万キロ）の達成を目指すというもので、422日間、のべ15,178人が参加する企画となった。（現在、2周目を実施中） 引き続き、ハイウェイオアシスとして高速道路施設と公園施設を一体で管理運営し、相互に利用促進をはかることで、旅行者にとっても、地域住民にとっても、公園の価値が高まる取組を進めていきたい。
--------	--